

たるま通信

Vol.2

～高橋是清のひ孫から～



名前：ふるた リバー

生後9か月で渡米したため、母国語は英語。日本語は26歳から学び、だいぶ上達したが、感情的になったり疲れると英語が出てしまいます。

曾祖父が3歳くらいの頃、お参りをしている殿様の奥方の着物を触りながら「おばさん、いいべべだ」と言ったそうです。周囲はハラハラしましたが、奥方は「可愛い子だね」と優しく対応。その後、お屋敷に招かれ、多くの品をいただいたとか。これを機に周りが「是清は幸運者だ」と言い続け、自分でもそう思うようになったそうです。私も同じ信念があり、ピンチでも期待以上の結果に繋がる幸運を感じる事が多いです。



TOPICS

1. ファーストペンギンの精神
2. 「第2の耐恒寮」構想
3. 落ち葉再利用で街と農業をつなぐ
4. 朝の挨拶活動
5. 昔も今も歌われ続ける街
6. 離島・馬渡島のゲンコウ・プロジェクト

私が目指していること

「ファーストペンギン」の精神 ～絆、忠誠心、そして挑戦～

私のジャケットの襟に付けている真珠のペンギンブローチ。それは、私の深いペンギン愛を象徴しています。よちよち歩く姿や、たまに滑って転ぶ仕草がたまらなく可愛く、さらにその性格も魅力的！仲間意識が高く、家族や友人を大切にすることでなく、一羽のパートナーに一生をかけて忠実です。そんなペンギンたちの姿に、私は人間関係で最も大事にしている「絆」と「忠誠心」を感じます。



未知の領域に挑む勇気は、他の仲間を安心させ、次の行動を導きます。怖さや不安が伴う中でも、私はブローチを見るたびに「自分はファーストペンギンなのだ」と覚悟を決め、新しい一歩を踏み出すことで周囲に勇気と変化をもたらしたいと考えています。

日本の動物園や水族館では、2500羽ほどのペンギンが暮らしており、私たちに自然保護や環境問題について考えるきっかけになっています。

ペンギンたちのように、絆を大切にし、忠誠心を持ち、勇気を持って挑戦する。それが、私が目指す生き方です。

そして、群れの中で最初に水中に飛び込む一羽である「ファーストペンギン」は私に大きな勇気を与えてくれます。



唐津を学びの街に「第2の耐恒寮」構想が築く未来

旧三菱合資会社唐津支店本館は、明治時代の歴史的建造物で、唐津の発展を象徴しています。この日、特別公開日に訪問した私の頭には「第2の耐恒寮」の構想がはっきりと浮かびました。

空間です。歴史ある建物や地域資源を活用し、オンライン授業や自習に対応した環境を整備します。24時間利用可能なジムのように、カードで入室できるシステムを導入し、自宅で集中できない方や、時間や設備が限られた方でも、気軽に安心して学べる場を整えます。

耐恒寮(たいこうりょう)とは、約150年前、私の曾祖父である高橋是清(たかはし・これきよ)が教師を務めた唐津城内の英語学校です。その当時、すでに今のように女性も平等に教育を受けることができた、非常に革新的な場でした。1年3カ月で全焼するという悲劇に見舞われ、その志は途絶えてしまいましたが、私はその未完の夢を、現代の唐津で再び形にしたいと考えています。

「第2の耐恒寮」を拠点に、唐津を「学びの街」として発展させ、地域全体を学びのシンボルとして成長させます。すべての人が学べる環境を整え、学びを通じて地域の活力を生み、地域経済への良い循環を作り上げていくことが私の目標です。



「第2の耐恒寮」は、性別・年齢・障がい・健康の有無を問わず、誰もが平等に学べる

私は曾祖父の志を引き継ぎ、唐津が「誰もが挑戦できる街」として輝く未来を目指し、一步一步取り組んでいきます。



町のゴミが農業の宝に ～落ち葉再利用で街と農業をつなぐ～

唐津では秋が深まり、美しく舞う落ち葉が街を彩っていますが、落ち葉掃除は大変です。放置すると滑りやすくなり、高齢者にとって負担や危険が伴います。

貴重な資源（肥料）となり、循環型の仕組みを改めて実感しました。地域連携を広げながら、街・人・自然が調和する唐津の未来に向けて、これからも活動を続けてまいります。

市ではゴミ袋を配布していますが、それだけでは不十分との声もあり、私は西浜町と町田の一部で落ち葉清掃活動に取り組みました。ちなみに集めた落ち葉は「みのり農場」に寄付し、美味しい野菜を育てる肥料として再利用していただきました。街で生まれた廃棄物（落ち葉）が農業では



朝のオアシスを目指して！ 朝の挨拶活動

月曜日から土曜日の朝7時過ぎから9時過ぎまで、後援事務所の前で通勤・通学の方々に「おはようございます！」と手を振っています。

だんだんと顔見知りの方が増え、小さな交流の場になりつつあります。土曜日は平日より交通量が少ないですが、週6日働いている方々を応援できることに大きなやりがいを感じています。この場所が、皆さんにとって朝のちょっとしたオアシスになれば嬉しいです。



昔も今も歌われ続ける街

作曲家・團伊玖磨（だん・いくま）が手がけた「唐津市歌」と合唱組曲「唐津」は、唐津の自然、歴史、文化、産業を7章にわたって歌い上げた作品で、地域の誇りを象徴しています。

一方、現代的な視点で唐津市内の風景や文化を描いたアニメ「ゾンビランドサガ」の楽曲「すきっちゃん！からチュッ」も話題です。

伝統を重ねた「唐津市歌」と、ポップな「すきっちゃん！からチュッ」。どちらも唐津の魅力を存分に表現した素晴らしい楽曲です。ぜひ「Karatsu Pride」を心に感じながら聴いてみてください！

唐津の有人離島・馬渡島のゲンコウ・プロジェクト

唐津には、それぞれが豊かな自然や文化を持つ7つの有人離島があります。その一つ、馬渡島（まだらしま）で柚子に似た柑橘類「ゲンコウ」の栽培が12月に行われ、13ケースも収穫しました。ゲンコウは馬渡島で自生していた貴重な作物で、島と本土をつなぐ地域活性化の鍵となっています。

このプロジェクトは4年前、唐津西高等学校の写真部が企画し、地域ボランティア活動団体の未来ギフト実行委員会が支援して始まりました。現在は西高の生徒たちとともに商品開発が進められ、馬渡島の魅力を広く発信する取り組みに成長しています。

さらに、島の特色を活かした新たな雇用創出も視野に入れたこのプロジェクトは、地域全体が一つとなって進める唐津の未来への大きな一歩です。



ご意見やご相談は、私のホームページまでお寄せください！

ふるたriver

検索 🔍

ぜひフォローしてくださいね！



ホームページ



ブログ



Instagram